須賀川市立長沼中学校・令和元年度学校通信

長中だより

第 ２ 号（令和元年５月７日発行）発行者 校長 小貫崇明

【５月の生活目標】
○学習環境を整備し、学習の基本的な態度を身につけよう
⇒中体連大会に向けた部活動の充実

○平成最後の修学旅行～思い出の奈良・京都・大阪～

平成３１年４月２３日（火）～２５日（木）の２泊３日で、３年生が修学旅行に行ってまいりました。旅行先は関西方面で、福島空港・伊丹空港間の飛行機を往復で利用し、見学・体験そして映画の世界と、内容盛りだくさんで充実の３日間でした。

【第１日】朝６時２０分学校集合で福島空港へ。飛行機にはじめて乗る生徒も多く、離着陸時には握った手に力が入ったり、思わずわ～っと声が出てしまう生徒も。伊丹空港に無事到着後、歴史の教科書に載っている奈良の寺社仏閣を多数見学しました。たっぷり歩いて疲れた後の、夕飯で食べたすき焼きは最高でした。












【第２日】JR 京都駅近くの宿舎を出て、京都市内班別自主研修へ出発。様々な名所旧跡を訪れ、楽しい体験をしました。着物を着たり、職人の技を学んだり、道に迷ったり？と、貴重な体験ばかりでした。







【第３日】ＵＳＪ近くのホテルからオープンと同時に入場。様々な映画やアニメのキャラクターになった気分になれるアトラクションを満喫。たっぷり一日楽しみ、飛行機で福島に帰ってきたのは２０時半でした。保護者の皆様、お迎えありがとうございました。






生徒が病気や怪我で病院に行くなどのアクシデントもなく、楽しい修学旅行でした。今回の修学旅行中の姿を、学校ＨＰにたくさん掲載しています。

○交通安全教室～命を守る安全な自転車の乗り方～



春の交通安全週間にあわせ、４月９日（火）に交通安全教室を実施いたしました。長沼駐在所の寒河江主任を講師にお迎えし、特に安全な自転車通学に関するお話をしていただきました。

交通安全委員の生徒たちによる、自転車通学の注意点やヘルメット装着の徹底、自転車置き場の使い方などについての説明は、実際の自転車や大きな画面に映した写真等を使ってわかりやすく行われました。また、交通安全担当の大野教諭は、保護者による送迎での自家用車の流れ等についても確認しました。特に、雨天時や降雪時の送り迎えでは、学校の駐車場が大変混み合い危険ですので、保護者の皆様による細心の注意をよろしくお願いいたします。

○避難訓練～いざという時にこそ練習したことがいきる～



４月１０日（水）６校時に、第１回避難訓練を実施いたしました。想定は地震で、計画では校庭への避難でしたが、あいにく雪やみぞれの降る天気だったため、集合場所を体育館に変更しました。

全学級避難までの時間は２分半、無駄話もなく避難し、整然と人員確認ができました。避難後の集会では、校長から「練習していたことが実際の災害時に絶対いきる」という話をしました。災害は無いに越したことはありませんが、実際に起きてしまった時こそ、今日のような落ち着いた行動ができることを期待します。

○第１回授業参観～学級の雰囲気を感じましたか？～



４月１９日（金）に、第１回授業参観を実施いたしました。たくさんの保護者の皆様に学校にお越しいただき、学級担任の先生の授業をご覧いただきました。お子様の生き生きと学ぶ姿、そして各学級の雰囲気を感じていただけたでしょうか？

授業参観後に開催しましたＰＴＡ総会では、今年度の計画や予算、そして新しいＰＴＡの役員を決めました。今後は、ＰＴＡの各委員会の委員を決めることになります。

★大切にしたい言葉(47)「風土をつくる・空気をつくる」

修学旅行の２日目に、校長が京都市大原にある大原学院を訪ねました。大原学院は須賀川市立稲田学園と同じ小中一貫校で、実は長沼の「奇跡のあじさい」が大切に育てられている学校です。その大原学院の石飛聡校長先生が学校だよりで紹介していた言葉が、今回の大切にしたい言葉です。石飛先生は、「教職員は風の人、地域・保護者は土の人、２つ合わせて風土がつくられる」と、学校の「風土づくり」の大切さを表現されていました。また、学級や学校の空気については、「授業中の生徒の小さな発言やつぶやきを拾い、生かしていくこと」が「空気づくり」の芽になっていくとおっしゃいました。学校教育に携わる者にとって、そしてもちろん学校の責任者である校長にとって、まさに「金言」であると感動いたしました。